

ナイスもミスも楽しもう。夏チョイス
ゴルフっふり、手抜きしません。

NO. **211**
2014 夏号
季刊

Choice

Golf Digest

チョイス
道楽

マイスター&エディター
絶対名品

ゴルフ夏図鑑

ウェッジとパターは
断固こだわる
フェアウェイウッド&
ユーティリティを選ぶ
大人の飛ばし
スナップ打法

3オン1パットが、正しい!

田園のダンディストたれ

A ma façon
A ta façon

2大付録

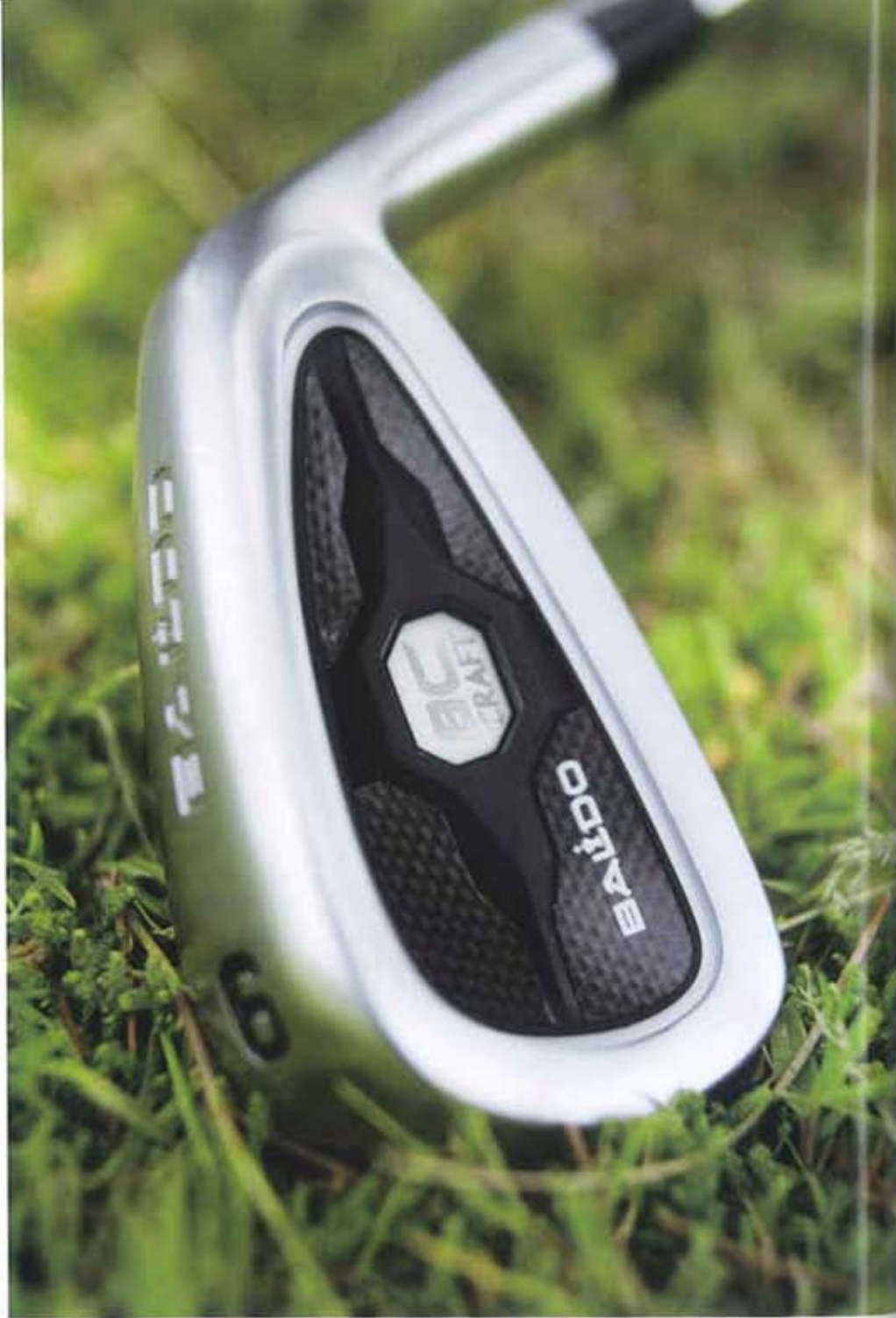
読んで、見て、60分 **ゴルフの服飾史**
季節の旅人シリーズ **北海道で極楽ゴルフ**





ウェッジも登場 他では 手に入らない “セミゲース”の 魅力

「8Cクラフトアイアン」の打感と“顔”にスムーズにつながる“セミゲース”のウェッジは、なかなか見当たらない。そこでバルドはウェッジも設計。ロフト50度のAWと56度のSWをラインナップ(近日発売予定)。「アドレスすると、自然とハンドファーストで構えたいくなります。フェースが開きすぎて下を滑るショートミスは出ませんね。バンカーでも試しましたが、スピニングがしっかりかかります」(小池プロ)



バックフェース下部にはアンダーカットの溝が。細部にまでこだわったつくりだ

BALDO 8C CRAFT IRON

●素材製法 / S20C 軟鉄精密鍛造+カーボンメダリオン搭載●仕上げ/サテンフィニッシュ●ヘッド重量 / 254g (#5) ●ロフト角 / 24度 (#5) ●ライ角 / 60.5度 (#5) ●価格 (ヘッド単体、税別) / 8万円 (#6~PW 5個セット)、9万6000円 (#5~PW 6個セット)



**Choice
AD**

問い合わせ / (株)バルド TEL.079-269-8211 baldo.co.jp



BALDO 8C CRAFT IRON

ストロングロフト、 なのに操作性抜群! マッスル打感が生む 驚異の スピンコントロール

「魅力あふれる製品を通じてゴルファーに楽しさ、夢や希望や感動を与えたい」をモットーに、「唯一無二」を追求したクラブを開発している「バルド」。5月、話題の「8Cクラフトドライバー」と同じく打感のこだわりと飛距離性能を高次元で両立させた、「8Cクラフトアイアン」が完成した。

小池文晴プロ

米ミニツアー1勝、ドラコン競技での実績を誇るロングヒッター。現在は「小池敏昭銀座ゴルフクリニック」インストラクター



“くつつく” 打感を最優先

ベテランゴルファーは「飛ぶドライバ―」は欲しがりますが、なぜか「飛ぶアイアン」には躊躇する。それは、アイアンがピンにからめる道具であり、飛ばして操作性を犠牲にするのを嫌うからだろう。だが、操作性を損なうことなく飛ばせるようになれば？ 短い番手で速くまで届くぶん、スコアメークがラクになるはず。そこでバルドが考えたのは「打感最優先の飛ぶアイアン」だった。

性から考えても「弾き」より「くつつき」ロフェースに乗る時間を延ばすことでエネルギーが伝わるほうがベターだ。となれば、ヘッド素材は軟鉄鍛造で決まり。さらに、加工しやすいネックの後付けではなく、一体成型を選択理由は、金属の繊維を切らないことと、打音と打感を高めたいから。そのため、ポケットキャビティ部もミリーングで行うというこだわりようだ。

飛ぶのに スピンはしっかり

打感追求なら、打点が肉厚のマッスルバック形状がベスト。だが、やさしく飛ばすにはストロングロフト+上がりやすい低・深重心にできるキャビティバックがいい。そこで、ラバーと組み合わせたカーボンメダリオンを背面に装着。フェースを薄くしても、マッスルの打感と打音を実現した。こうして完成したのが「8Cクラフトアイアン」だ。試打した小池文晴プロは、こう語る。

「一般的な飛ぶアイアンは、スピン量とずタイプが多いんです。そのほうが直進性も高く、風に強かったりするので。でも、それだと距離感、タテのバラツキが大きくなりやすいんです。少し距離を加減しようとしても、逆にランが出てオーバーしたり…」

ですが、この「8Cクラフト」はスピン量の安定感が素晴らしい。フェード、ドローも安定します。実は、ドローが打てるかどうかはスピンの安定性を見る目安になります。ドローはバックスピンのため、これで打球がドロップしたり、すっぽ抜けるアイアンは、コントロールを期待できません。ヘッド重量を軽めに仕上げている、シャフトを長めに設定できるのが、飛距離を出せるポイント。

「ヘッドの操作性を損なわず、飛距離を出すのは長尺化とストロングロフトを組み合わせるのがベスト。ただ、それにはライ角調整が必要になるんですが「8Cクラフト」は軟鉄だから、調整もカンタン。顔もセミグースで構えやすく、ソールの抜けも秀逸ですが、これも使い手のこだわりで削ることもできる。軟鉄の良さを最大限に生かした、今までにない飛ばし系アイアンですね(小池)